



依頼者名: 野村乳業株式会社 殿

結果報告日: 2017年7月11日

試料名: 『飲む、植物乳酸菌』、『毎日千億』

報告書番号: RIN17CM005CR1

株式会社 同位体研究所

代表取締役 堀

横浜市鶴見区末広町1

横浜市産学共同研究

TEL:045-718-5457 FAX:045-75024555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量: >2kg

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定。(定基下限 1 Bq/kg にての核種測定)

分析結果: Ge定量1

| 核種 | 分析対象品目分類 | 測定値 | 単位 | 定量下限値 |
|-------------|-----------|-----|-------|-----------|
| Iodine-131 | 一般食品 | ND | Bq/kg | 0.7 Bq/kg |
| Caesium-134 | 国内は、合算規制値 | ND | Bq/kg | 0.8 Bq/kg |
| Caesium-137 | | ND | Bq/kg | 1.0 Bq/kg |
| 放射性セシウム計 | 一般食品 | ND | Bq/kg | |

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。

定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値

(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。

本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。

測定装置: CANBERRA GC2020

測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

結果注釈: 放射性ヨウ素(I-131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)